



ICANNクアラルンプール会議 概要報告

2004年9月9日

第10回ICANN報告会

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター

伊勢禎和

会議スケジュール

期間：2004/7/19～23 於：マレーシア・クアラルンプール

- 7/19 政府諮問委員会 (GAC) 会合、GNSO 部会別会合、ccNSO 会合
- 7/20 世界情報社会サミット (WSIS) ワークショップ、GAC 会合、ccNSO 会合、ccNSO 評議会、GNSO 評議会、At-Large & アジア太平洋地域ユーザー会合
- 7/21 国際化ドメイン名 (IDN) ワークショップ
- 7/22 パブリックフォーラム
- 7/23 理事会
- (7/24 ICANN/ITU-T 共催 ccTLD ワークショップ)



今回の特色(1)

世界情報社会サミット(WISIS)ワークショップ

- 前回2004年3月のローマ会議に続く第2弾
- 国連 インターネットガバナンスに関するワーキンググループ(WGIG)事務局長が活動予定等を説明

国際化ドメイン名(IDN)ワークショップ

- アジアを中心とする各地域のIDN実装状況を報告

今回の特色(2)

IPv6推進への貢献に対し、ICANNがJPRSを表彰

- 2004年7月20日、ルートゾーンにIPv6ネームサーバアドレス(.jp および .kr)が初めて追加される
- パブリックフォーラムでの「IANA活動報告」にて、ICANNがTLDのIPv6対応推進に貢献した2名(JPRS 堀田氏とAFNIC Guillard氏)を表彰

主な理事会決議(1)

2004～2005年度予算案の承認

- ICANN-米国商務省間覚書に規定の目標達成等のため、前年度予算から大幅増
(827万ドル → 1,583万ドル)
- レジストラへの課金モデルを変更し、新たな収入源としてレジストラ支援料(380万ドル)を設定
- これに対し、小規模レジストラによる反対運動も救済措置の検討

主な理事会決議 (2-1)

DNSワイルドカードについて

[背景]

- 2003年9月、VeriSignがSite Finderサービス(DNSワイルドカードを使用して、存在しないCOM/NETドメイン名を同社が運営するサイトにリダイレクトするサービス)を開始
- 同月、ICANNからの要請により、VeriSignはSite Finderサービスを一時停止
- ICANNは「セキュリティと安定性に関する諮問委員会」(SSAC)に対し、DNSワイルドカードを使用したサービスがインターネットのセキュリティおよび安定性に対して及ぼす影響について調査を依頼
- 2004年7月9日、SSACが調査結果および勧告を発表

主な理事会決議 (2-2)

[今回の決議内容]

SSACからの勧告を受けて、以下を決議：

- 「DNSワイルドカードの仕様には欠陥が存在するため、RFC規定を必要に応じて修正すべき」とのSSACからの勧告に従い、DNSワイルドカードに関する標準についての解釈を、インターネット・アーキテクチャ・ボード(IAB)に確認する
- その確認がなされるまで、いかなるTLDにも新たなワイルドカードのアプリケーションを導入しないよう勧告する
- レジストリサービスへの重大な変更を行う場合には、適切な通知およびコミュニティによる検討・議論・コンセンサス形成の機会を持った上で、慎重に行うよう勧告する

主な理事会決議(3)

国際化ドメイン名(IDN)について

- IDNの実装状況および懸案事項について報告するようICANNスタッフに指示
- ICANN事務総長の管轄下に「IDNに関する諮問委員会」を設置

理事会およびICANNコミュニティに対し、IDNのポリシーに関連する問題について助言を行う

今後のICANN会議予定

■ ケープタウン会議 (南アフリカ)

2004年12月1～5日

■ 2005年については詳細未定

4月4～8日 (南米)

7月11～15日 (ヨーロッパ)

12月5～9日 (北米)